

# 第三報 俺たちは鉄路に生きる

# 東京東部上映会

日刊  
動労千葉

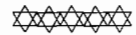
1988.2.26

No.2766

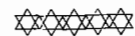
国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

## 新小岩支部の奮闘で大成功



新小岩支部は二月十九日、江東勤労福祉会館において「第三報・俺たちは鉄路に生きる」東京東部地区上映会を開催した。上映会は、組合員、家族会、そして東部地区でたたかう労組員など百十名の参加をもって大成功を勝ちとった。



百十ヶ所の労組をまわり  
四千枚のビラまきを貫徹

この上映会の成功のために、年明けから青年部を先頭に支部組合員が連日の労組オルグ、参加要請行動をやりぬき貫徹した。葛飾、江戸川、江東、墨田各地区の労組を回り、参加の要請、チケットの販売を行い、のべ一〇ヶ所の労組オルグ、一〇〇枚を超えるチケットの販売という成果をあげた。

オルグ隊は、行った先々で熱い声援を受けた。ある民間労組の仲間が「動労千葉のたたかいは偉大だ。われわれも学んでたたかう」「動労千葉と共にたたかう」「全労連では労働者の生活と権利は守れない」と語った。また、ある教組の仲間からは「鉄道労連は労働組合ではない。松崎は資本の手先だ、許せない」との怒りの声がオルグ隊に寄せられた。

また、労組オルグと平行して国鉄宿舎、国鉄寮、総武線沿線の団地にチラシ入れを行い、四千枚をまききった。（それを見て上映会に来た人も数名いる）

上映会はこうした支部組合員の奮闘により準備され、開催されたのである。

### 会場から割れんばかりの拍手

上映会は松本執行委員の司会で始まり、関支部長の主催者あいさつを受けた。関支部長は「六三・三ダイ改」攻撃、強権的労務支配政策に実力で対決していく決意を明らかにした。そして、全参加者に、この間の物販、上映会の取り組みに対する御礼をのべられた。

関支部長のあいさつの後、「第三報」の上映が始まった。全参加者がスクリーンを注目し、眼を離さない。動労千葉のたたかいをスクリーンからまのあたりに見ているようだ。上映が終ると全参加者から割れんばかりの拍手が送られた。

全造船石川島分会  
佐藤さんが連帯のあいさつ

上映の後、つづいて全造船石川島分会の佐藤芳夫氏のあいさつが行われた。佐藤氏は「この映画は組合員全員が主役だ。皆でたたかっている姿を見て感動した」「今日、参加している人は動労千葉の運動を支え、支援しよう」と語られた。

佐藤氏につづき、最後に本部を代表して、山口副委員長の発言を受け、「分割・民営化」の矛盾と動労千葉の決意、方針を明らかにし、上映会は終了した。

また、会場の外では青年部が警察権力、革マルの妨害に備えて会場を防衛しぬいた。

この上映会の成功は、東京東部のたたかう労働者の全労連に対する危機感、怒りを結集したものである。新小岩支部は、この成功にふまえ、「六三・三」粉碎、三・二七三里塚へ向け、新たなたたかいに総決起する決意である。

